

平成 30 年度

## 第 4 回青少年意見募集事業結果

### テーマ

子供・若者の生活文化や国民娯楽に対する意識について

(提案元：文化庁)

### 意見受付期間

平成 30 年 10 月 22 日 (月) ~ 11 月 11 日 (日)

平成 30 年 12 月

主に自由回答形式の質問に対する回答を、回答の要点ごとに分析して集計し、分類ごとに主な意見を掲載している。意見の掲載に当たっては、必要に応じ、要約している。

第 4 回 子供・若者の生活文化や国民娯楽に対する意識について（文化庁）

1. 設問

- 質問 1 - 1 日本には、様々な生活文化や国民娯楽がありますが、次のうち、あなたが生活文化・国民娯楽として思い浮かぶものを教えてください。
- 質問 1 - 2 （質問 1 - 1 で思い浮かぶものを回答された方）それに対してどのようなイメージを持っていますか。（複数回答いただいた方は、全体のイメージでお答えください。）
- 質問 1 - 3 （質問 1 - 2 で「良い」と回答された方）その理由を教えてください。  
（「その他」と回答された方）具体的な理由をお書きください。
- 質問 1 - 4 （質問 1 - 2 で「悪い」「特にイメージを持っていない」と回答された方）その理由を教えてください。  
（「その他」と回答された方）具体的な理由があればお書きください。
- 質問 2 - 1 あなたが一度でも経験したことのある生活文化・国民娯楽があれば教えてください。  
（「その他」と回答された方）具体的な名称等をお書きください。
- 質問 2 - 2 （質問 2 - 1 で、生活文化・国民娯楽を経験したことがあると回答された方）実際に体験したとき、どのような気持ちになりましたか。（複数経験がある方は、特に印象に残っているものに対してお答えください。）  
（「その他」と回答された方）具体的な感想をお書きください。
- 質問 2 - 3 （質問 2 - 2 で「つまらなかった」「もう経験したくないと思った」と回答された方）なぜそのような気持ちになったのか、具体的に教えてください。
- 質問 2 - 4 （質問 2 - 1 で「経験したことがない」と回答された方）その理由は何ですか。
- 質問 3 - 1 生活文化・国民娯楽はこれからも引き継がれていく必要があると思いますか。
- 質問 3 - 2 （質問 3 - 1 で「思う」と回答された方）生活文化・国民娯楽を引き継いでいくために、どのような取組が必要だと思いますか。あなたの考えを教えてください。
- 質問 3 - 3 （質問 3 - 1 で「思わない」と回答された方）必要だと思わない理由があれば、教えてください。
- 質問 4 どのようにすれば若い世代の人たちが生活文化・国民娯楽に関心を持つと思いますか。アイデアがあれば教えてください。  
（「その他」と回答された方）具体的なアイデアをお書きください。
- 質問 5 どのようにすれば外国の方に日本の生活文化・国民娯楽を知ってもらえると思いますか。アイデアがあれば教えてください。

### 3 平成 30 年度 第 4 回青少年意見募集事業結果

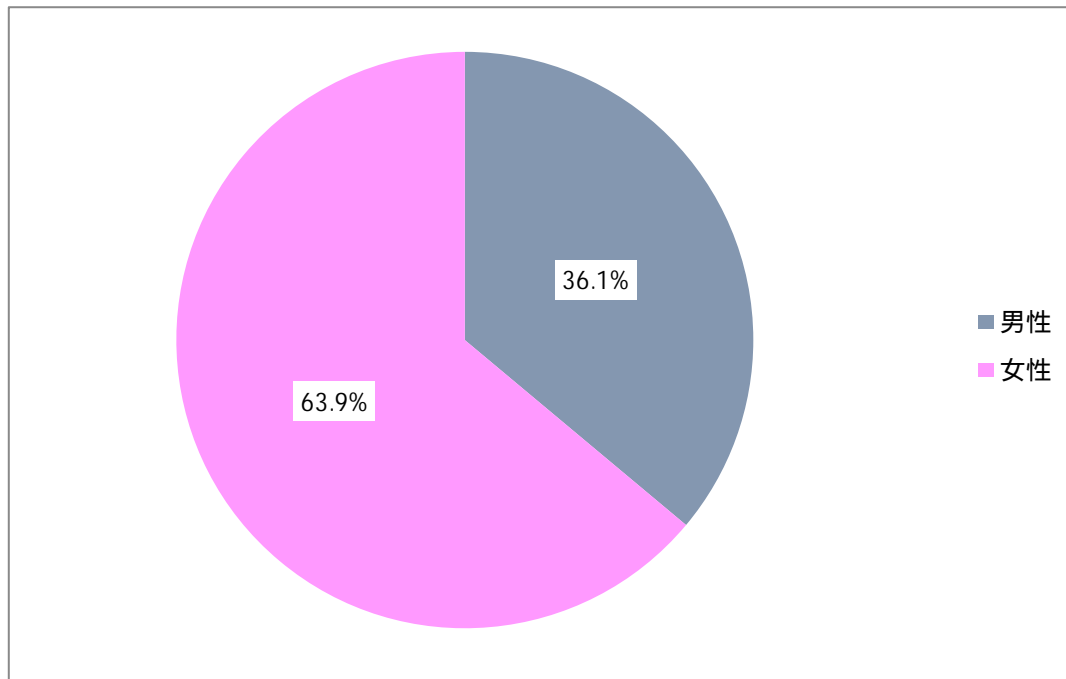
#### 2 . 意見受付期間

10 月 22 日 ( 月 ) ~ 11 月 11 日 ( 日 )

#### 3 . 回答者数・回答属性

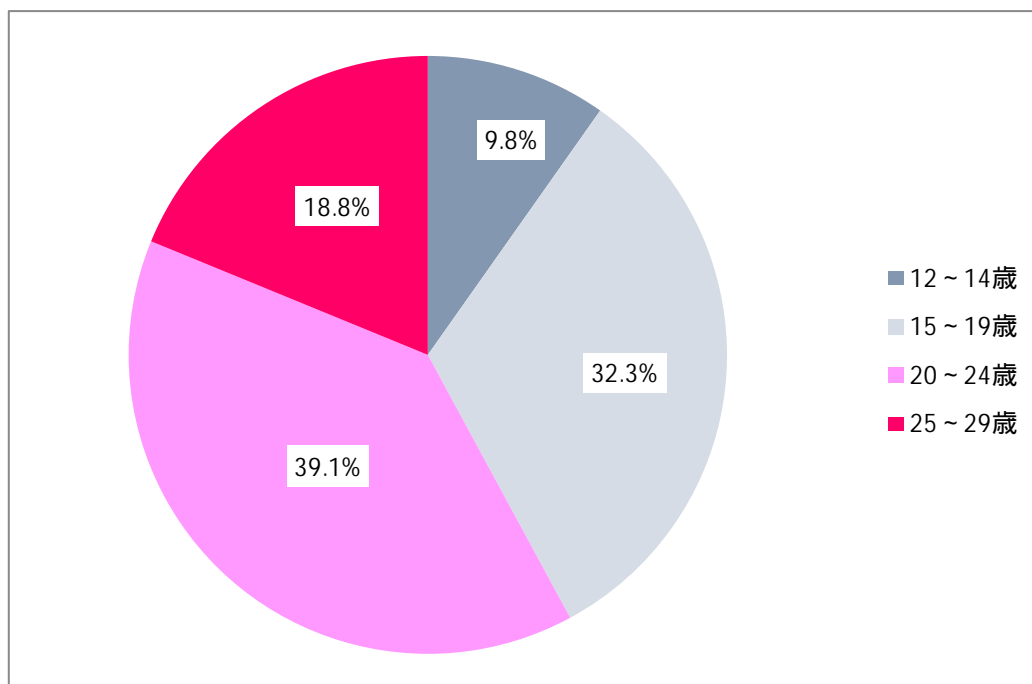
【回答者数】 男性 : 48 名 女性 : 85 名 合計 : 133 名 ( 配信数 : 262 名、回答率 : 50.8% )

【性別】 男性が 36.1%、女性が 63.9%であった。

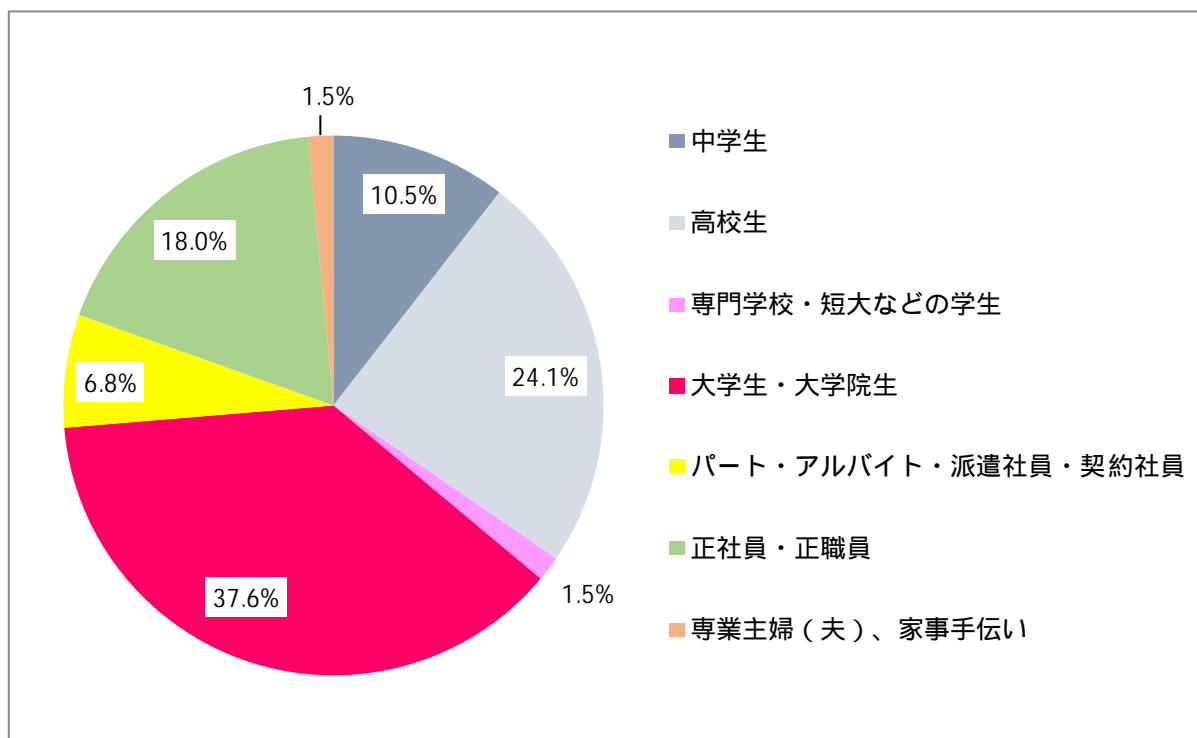


#### 4 平成 30 年度 第 4 回青少年意見募集事業結果

【年齢】 12～14 歳が 9.8%、15～19 歳が 32.3%、20～24 歳が 39.1%、25～29 歳が 18.8%であった。

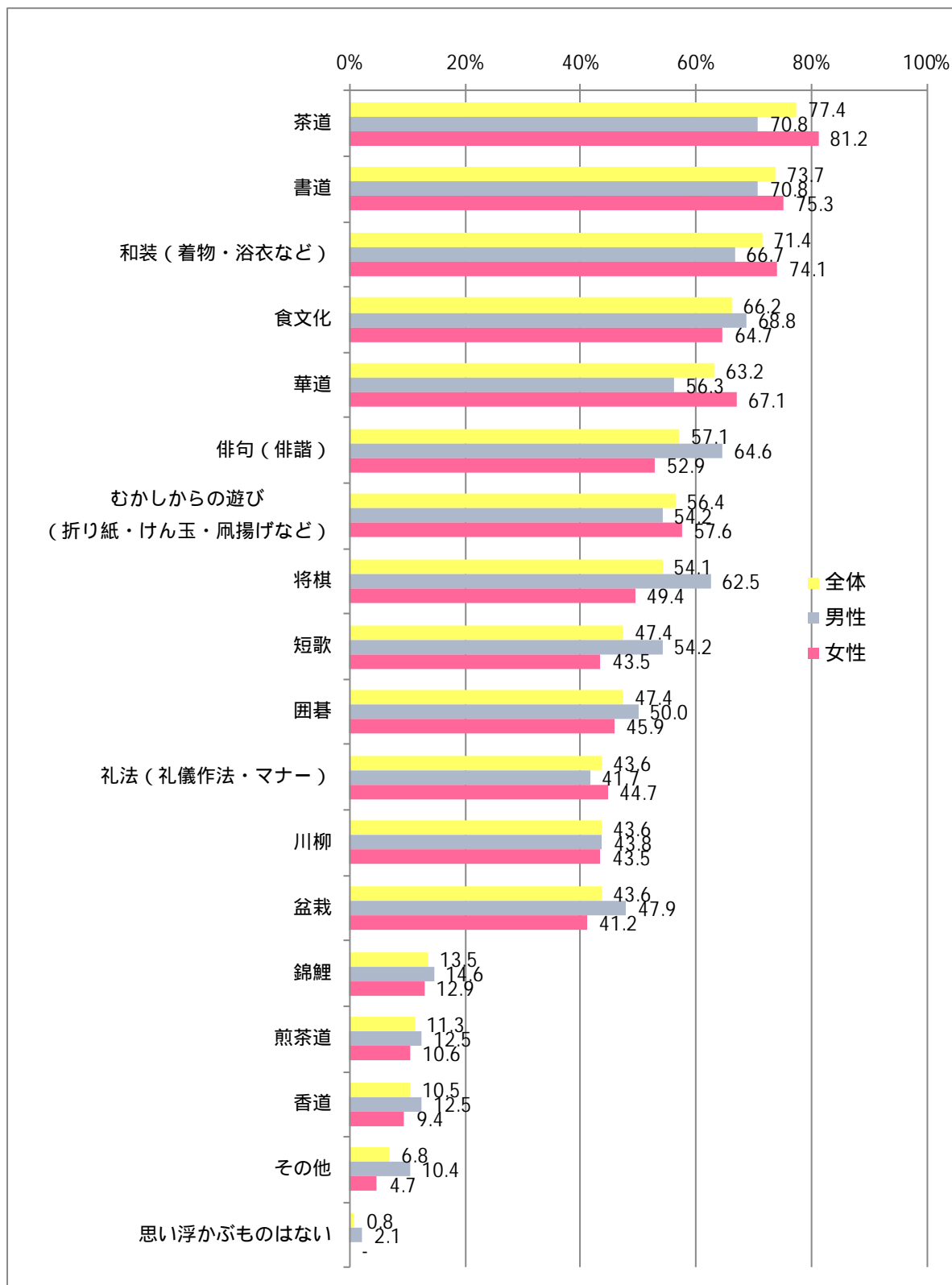


【職業】 中学生が 10.5%、高校生が 24.1%、専門学校・短大などの学生が 1.5%、大学生・大学院生が 37.6%、パート・アルバイト・派遣社員・契約社員が 6.8%、正社員・正職員が 18.0%、専業主婦（夫）・家事手伝いが 1.5%であった。



4 . 集計結果

質問 1 - 1 日本には、様々な生活文化や国民娯楽がありますが、次のうち、あなたが生活文化・国民娯楽として思い浮かぶものを教えてください。(複数回答可)



6 平成30年度 第4回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%	全体	茶道	書道	和装（着物・浴衣など）	食文化	華道	俳句（俳諧）	（折り紙・けん玉・用ひ）	むかしからの遊び	将棋	短歌	囲碁	礼法（マナー）	川柳	盆栽	錦鯉	煎茶道	香道	その他	思い浮かぶものは
全体	133 100.0	103 77.4	98 73.7	95 71.4	88 66.2	84 63.2	76 57.1	75 56.4	72 54.1	63 47.4	63 47.4	63 47.4	58 43.6	58 43.6	58 43.6	18 13.5	15 11.3	14 10.5	9 6.8	1 0.8
性別																				
男性	48 100.0	34 70.8	34 70.8	32 66.7	33 68.8	27 56.3	31 64.6	26 54.2	30 62.5	26 54.2	24 50.0	24 50.0	20 41.7	21 43.8	23 47.9	7 14.6	6 12.5	6 12.5	5 10.4	1 2.1
女性	85 100.0	69 81.2	64 75.3	63 74.1	55 64.7	57 67.1	45 52.9	49 57.6	42 49.4	37 43.5	39 45.9	38 44.7	37 44.7	37 43.5	35 41.2	11 12.9	9 10.6	8 9.4	4 4.7	-
年齢																				
12～14歳	13 100.0	11 84.6	10 76.9	8 61.5	10 76.9	8 61.5	8 46.2	7 53.8	6 46.2	2 15.4	4 30.8	4 30.8	2 69.2	2 15.4	4 30.8	1 7.7	-	-	-	-
15～19歳	43 100.0	30 69.8	30 69.8	28 65.1	24 55.8	23 53.5	22 51.2	20 46.5	22 51.2	18 41.9	19 44.2	19 44.2	13 30.2	13 30.2	13 30.2	3 7.0	4 9.3	3 7.0	3 7.0	1 2.3
20～24歳	52 100.0	43 82.7	38 73.1	40 76.9	36 69.2	34 73.1	34 65.4	34 65.4	26 50.0	31 59.6	25 48.1	25 48.1	26 50.0	27 51.9	29 55.8	8 15.4	8 15.4	8 15.4	6 11.5	-
25～29歳	25 100.0	19 76.0	20 80.0	19 76.0	18 72.0	15 60.0	14 56.0	14 56.0	18 72.0	12 48.0	15 60.0	15 60.0	10 40.0	11 44.0	12 48.0	6 24.0	3 12.0	3 8.0	2 8.0	-
性別×年齢																				
男性-12～14歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
男性-15～19歳	15 100.0	8 53.3	9 66.7	9 60.0	10 66.7	7 46.7	10 66.7	8 53.3	10 66.7	6 40.0	7 46.7	7 46.7	5 33.3	5 40.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7
男性-20～24歳	19 100.0	14 73.7	12 63.2	11 57.9	11 57.9	10 52.6	11 57.9	9 47.4	11 57.9	7 36.8	10 52.6	10 52.6	7 36.8	7 36.8	6 31.6	2 10.5	2 10.5	2 15.8	3 15.8	-
男性-25～29歳	12 100.0	10 83.3	11 91.7	11 91.7	10 83.3	9 75.0	9 75.0	8 66.7	11 91.7	9 75.0	9 75.0	8 66.7	7 58.3	8 66.7	9 75.0	4 33.3	3 25.0	3 16.7	-	-
女性-12～14歳	11 100.0	9 81.8	9 81.8	8 72.7	8 72.7	7 63.6	7 63.6	6 54.5	8 72.7	4 36.4	5 45.5	5 45.5	3 27.3	4 36.4	4 36.4	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	-
女性-15～19歳	28 100.0	22 78.6	20 71.4	19 67.9	14 50.0	16 57.1	16 57.1	12 42.9	12 42.9	12 42.9	12 42.9	8 28.6	8 28.6	8 28.6	9 32.1	2 7.1	3 10.7	2 7.1	1 3.6	-
女性-20～24歳	33 100.0	29 87.9	26 78.8	29 87.9	25 75.8	28 84.8	23 69.7	25 75.8	19 57.6	21 63.6	18 54.5	19 57.6	18 54.5	21 63.6	20 60.6	6 18.2	6 18.2	5 15.2	3 9.1	-
女性-25～29歳	13 100.0	9 69.2	9 69.2	8 61.5	8 61.5	6 46.2	6 46.2	5 38.5	7 53.8	3 23.1	3 23.1	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	-	-	-	-	-
属性																				
中学生	14 100.0	12 85.7	10 71.4	9 64.3	10 71.4	8 57.1	8 57.1	7 50.0	6 42.9	2 14.3	4 28.6	4 28.6	2 14.3	2 14.3	4 28.6	1 7.1	-	-	-	-
高校生	32 100.0	22 68.8	23 71.9	21 65.6	18 56.3	16 50.0	16 50.0	14 43.8	17 53.1	14 43.8	14 43.8	11 34.4	11 34.4	13 40.6	9 28.1	3 9.4	3 9.4	3 9.4	3 9.4	1 3.1
専門学校・短大などの学生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
大学生・大学院生	50 100.0	38 76.0	37 74.0	36 72.0	35 70.0	35 70.0	28 56.0	30 60.0	25 50.0	27 54.0	22 44.0	22 44.0	22 44.0	25 50.0	23 46.0	5 10.0	5 10.0	5 10.0	5 10.0	-
パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 100.0	8 88.9	7 77.8	6 66.7	5 55.6	5 55.6	5 55.6	4 44.4	5 55.6	5 55.6	5 55.6	2 22.2	2 22.2	4 44.4	5 55.6	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-	-
正社員・正職員	24 100.0	20 83.3	19 79.2	20 83.3	19 79.2	17 70.8	17 70.8	16 66.7	17 70.8	15 62.5	15 62.5	12 50.0	13 54.2	13 54.2	7 29.2	6 25.0	2 8.3	2 8.3	1 4.2	-
専業主婦（夫）、家事手伝い	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

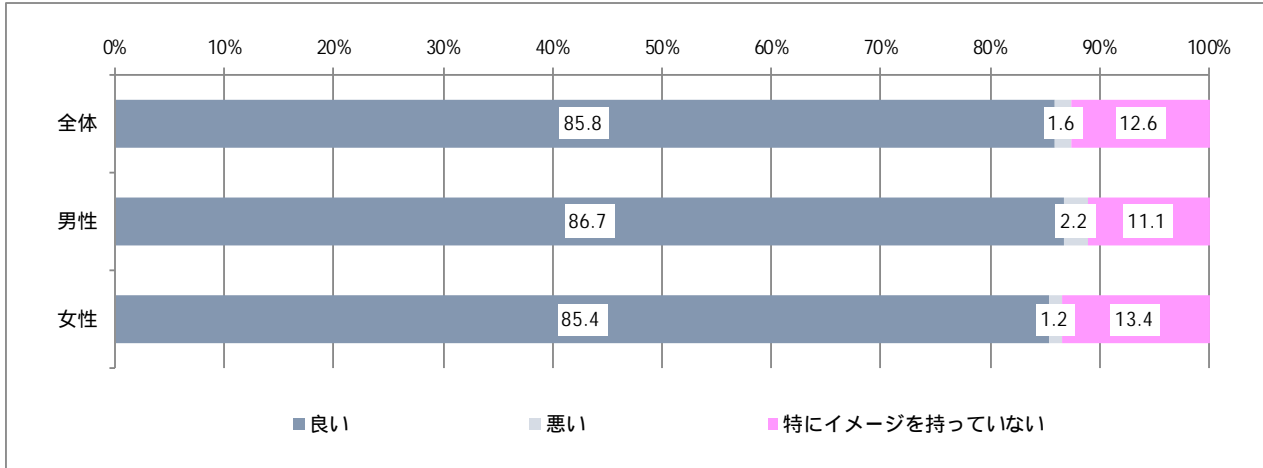
複数回答有り：回答数 1,048

全体で見ると、「茶道」と回答した割合が77.4%と最も高く、次いで「書道」が73.7%、「和装（着物・浴衣など）」が71.4%の順となった。  
 年代別で見ると、「12～24歳」は「茶道」と回答した割合が最も高く、「25～29歳」は「書道」と回答した割合が最も高い。  
 男女別で見ると、男女とも「茶道」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- ゝ 麻雀（日本のルールで行われるもの）（女性 / 20歳 / 大学生・大学院生）
- ゝ 小学校から習ってきたそろばんや合気道などの武道（男性 / 16歳 / 高校生）
- ゝ 歌舞伎や浄瑠璃などの演劇（女性 / 17歳 / 高校生）
- ゝ アニメ、ゲーム、擬人化（男性 / 20歳 / 大学生・大学院生）
- ゝ 生活文化:敬語、詩吟、国民娯楽:お祭り、落語、狂言（女性 / 22歳 / 大学生・大学院生）
- ゝ 剣道、柔道（女性 / 21歳 / 大学生・大学院生）
- ゝ 落語、歌舞伎（男性 / 16歳 / 高校生）
- ゝ お琴など音楽（女性 / 23歳 / 大学生・大学院生）
- ゝ ご縁はがき（男性 / 23歳 / 正社員・正職員）

質問1-2 (質問1-1で思い浮かぶものを回答された方) それに対してどのようなイメージを持っていますか。(複数回答いただいた方は、全体のイメージでお答えください。)



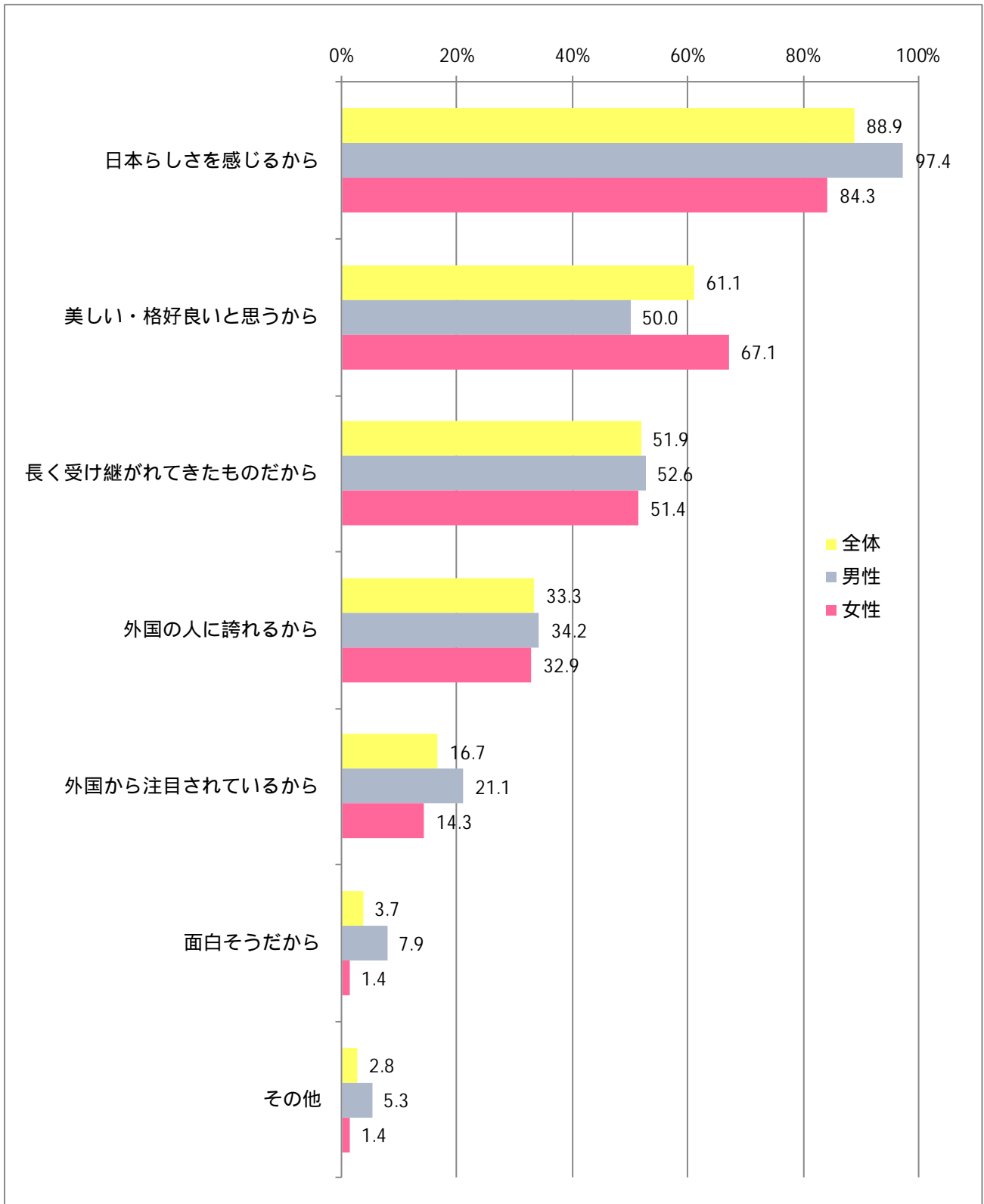
上段：人数 下段：%		全体	良い	悪い	特にイメージを持っていない
全体	127 100.0	109 85.8	2 1.6	16 12.6	
性別	男性 45 100.0	39 86.7	1 2.2	5 11.1	
	女性 82 100.0	70 85.4	1 1.2	11 13.4	
年齢	12~14歳 13 100.0	12 92.3	-	1 7.7	
	15~19歳 42 100.0	40 95.2	-	2 4.8	
	20~24歳 48 100.0	39 81.3	-	9 18.8	
	25~29歳 24 100.0	18 75.0	2 8.3	4 16.7	
性別×年齢	男性-12~14歳 2 100.0	2 100.0	-	-	
	男性-15~19歳 14 100.0	14 100.0	-	-	
	男性-20~24歳 17 100.0	15 88.2	-	2 11.8	
	男性-25~29歳 12 100.0	8 66.7	1 8.3	3 25.0	
	女性-12~14歳 11 100.0	10 90.9	-	1 9.1	
	女性-15~19歳 28 100.0	26 92.9	-	2 7.1	
	女性-20~24歳 31 100.0	24 77.4	-	7 22.6	
	女性-25~29歳 12 100.0	10 83.3	1 8.3	1 8.3	
属性	中学生 14 100.0	13 92.9	-	1 7.1	
	高校生 31 100.0	30 96.8	-	1 3.2	
	専門学校・短大などの学生 2 100.0	2 100.0	-	-	
	大学生・大学院生 48 100.0	41 85.4	-	7 14.6	
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員 8 100.0	7 87.5	-	1 12.5	
	正社員・正職員 23 100.0	16 69.6	1 4.3	6 26.1	
	専業主婦(夫)、家事手伝い 1 100.0	-	1 100.0	-	
	無業者 - -	-	-	-	

全体で見ると、85.8%が「良い」、1.6%が「悪い」、12.6%が「特にイメージを持っていない」と回答した。

年代別で見ると、「12~19歳」では「良い」と回答した割合は9割以上であったが、「20~29歳」では「特にイメージを持っていない」と回答した割合が10代と比較して高かった。

男女別では、全体と比較して、大きな差は見られなかった。

質問 1 - 3 (質問 1 - 2 で「良い」と回答された方) その理由を教えてください。(複数回答可)





9 平成30年度 第4回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	日 本 ら し さ を 感 じ る か ら	美 し い ・ 格 好 良 い と 思 う か ら	長 く 受 け 継 が れ て き た も の だ か ら	外 国 の 人 に 誇 れ る か ら	外 国 か ら 注 目 さ れ て い る か ら	面 白 そ う だ か ら	そ の 他
全体		108 100.0	96 88.9	66 61.1	56 51.9	36 33.3	18 16.7	4 3.7	3 2.8
性別	男性	38 100.0	37 97.4	19 50.0	20 52.6	13 34.2	8 21.1	3 7.9	2 5.3
	女性	70 100.0	59 84.3	47 67.1	36 51.4	23 32.9	10 14.3	1 1.4	1 1.4
年齢	12～14歳	12 100.0	10 83.3	6 50.0	6 50.0	5 41.7	2 16.7	-	-
	15～19歳	40 100.0	35 87.5	22 55.0	19 47.5	16 40.0	7 17.5	1 2.5	1 2.5
	20～24歳	38 100.0	35 92.1	28 73.7	24 63.2	13 34.2	6 15.8	2 5.3	1 2.6
	25～29歳	18 100.0	16 88.9	10 55.6	7 38.9	2 11.1	3 16.7	1 5.6	1 5.6
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	男性-15～19歳	14 100.0	13 92.9	5 35.7	10 71.4	7 50.0	5 35.7	1 7.1	1 7.1
	男性-20～24歳	14 100.0	14 100.0	10 71.4	6 42.9	3 21.4	1 7.1	2 14.3	1 7.1
	男性-25～29歳	8 100.0	8 100.0	4 50.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	-	-
	女性-12～14歳	10 100.0	8 80.0	6 60.0	5 50.0	4 40.0	2 20.0	-	-
	女性-15～19歳	26 100.0	22 84.6	17 65.4	9 34.6	9 34.6	2 7.7	-	-
	女性-20～24歳	24 100.0	21 87.5	18 75.0	18 75.0	10 41.7	5 20.8	-	-
	女性-25～29歳	10 100.0	8 80.0	6 60.0	4 40.0	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0
属性	中学生	13 100.0	11 84.6	6 46.2	6 46.2	6 46.2	2 15.4	-	-
	高校生	30 100.0	27 90.0	15 50.0	15 50.0	14 46.7	6 20.0	1 3.3	-
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0
	大学生・大学院生	40 100.0	37 92.5	27 67.5	22 55.0	12 30.0	6 15.0	2 5.0	1 2.5
	パート・アルバイト・派遣社員・ 契約社員	7 100.0	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	-	-
	正社員・正職員	16 100.0	13 81.3	13 81.3	10 62.5	3 18.8	3 18.8	1 6.3	1 6.3
	専業主婦(夫)、家事手伝い	-	-	-	-	-	-	-	-
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-

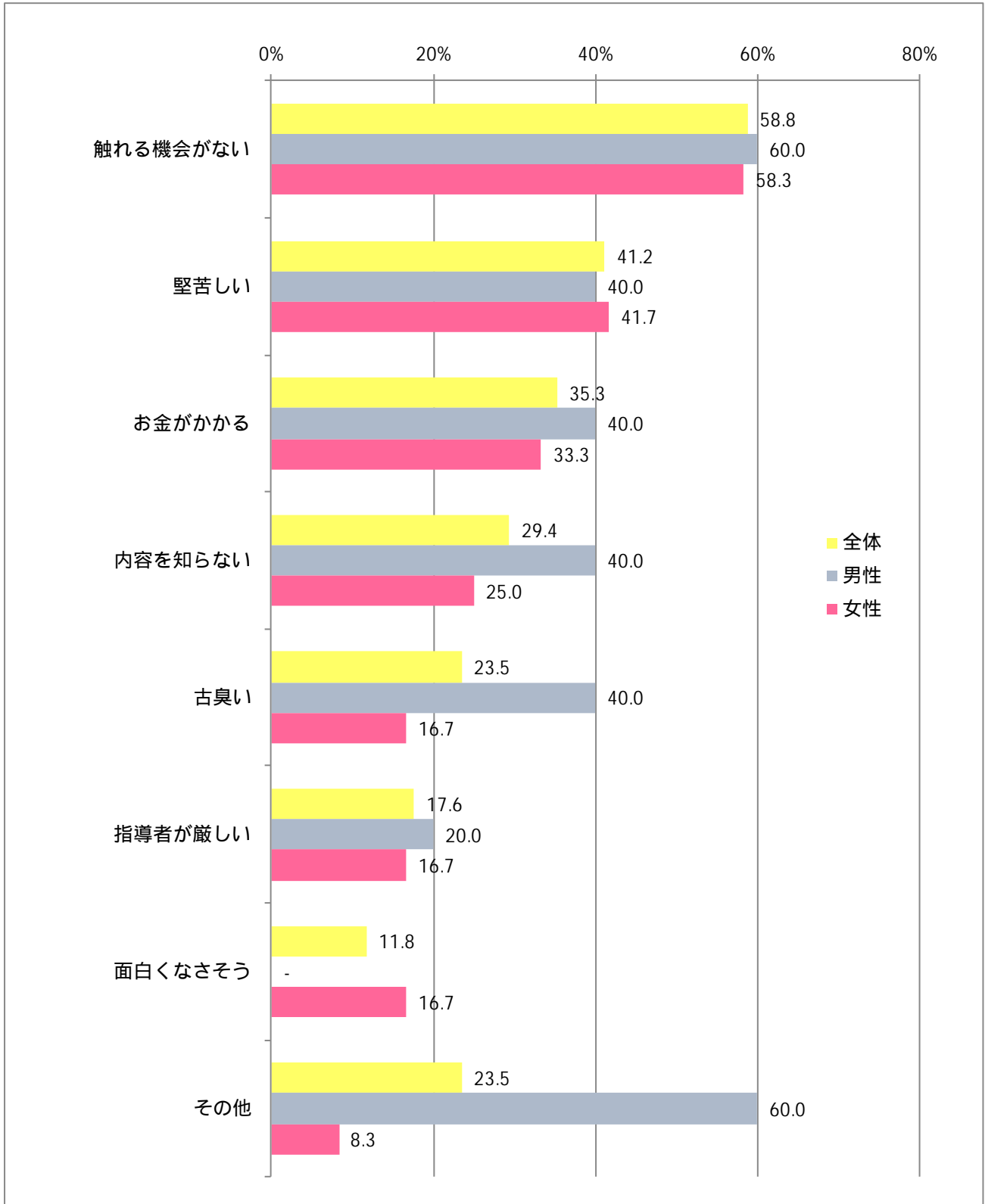
複数回答有り：回答数 279

全体で見ると、「日本らしさを感じるから」と回答した割合が 88.9%と最も高く、次いで「美しい・格好良いと思うから」が 61.1%、「長く受け継がれてきたものだから」が 51.9%の順となった。  
年代別で見ると、全ての年代で「日本らしさを感じるから」と回答した割合が最も高かった。  
男女別で見ても、男女とも「日本らしさを感じるから」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- z ふとした時に川柳や俳句などをつくり、幼い頃からなじんできたから。(男性 / 18 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- z 昔から伝わるものであり、日本を代表する文化として根付いているため。(男性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 諸外国にはない独自の文化・価値観だから。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 比較的とつきやすく身近に感じるから。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 日本人としてのアイデンティティになるから。日本人としての連帯感に繋がるから。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 自分も剣道をやっていたので、好きであるのと日本の文化が好きだから。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

質問 1 - 4 (質問 1 - 2 で「悪い」「特にイメージを持っていない」と回答された方) その理由を教えてください。(複数回答可)



12 平成30年度 第4回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全体	触れる機会がない	堅苦しい	お金がかかる	内容を知らない	古臭い	指導者が厳しい	面白くなさそう	その他
全体		17 100.0	10 58.8	7 41.2	6 35.3	5 29.4	4 23.5	3 17.6	2 11.8	4 23.5
性別	男性	5 100.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	3 60.0
	女性	12 100.0	7 58.3	5 41.7	4 33.3	3 25.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3
年齢	12～14歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	15～19歳	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	20～24歳	8 100.0	5 62.5	3 37.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5
	25～29歳	6 100.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	3 50.0
性別×年齢	男性-12～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性-15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性-20～24歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	男性-25～29歳	4 100.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	-	3 75.0
	女性-12～14歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	女性-15～19歳	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	女性-20～24歳	7 100.0	4 57.1	3 42.9	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	女性-25～29歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
属性	中学生	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	専門学校・短大などの学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大学生・大学院生	7 100.0	4 57.1	3 42.9	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	6 100.0	4 66.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-	3 50.0
	専業主婦(夫)、家事手伝い	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 41

全体で見ると、「触れる機会がない」と回答した割合が 58.8%と最も高く、次いで「堅苦しい」が 41.2%、「お金がかかる」が 35.3%の順となった。

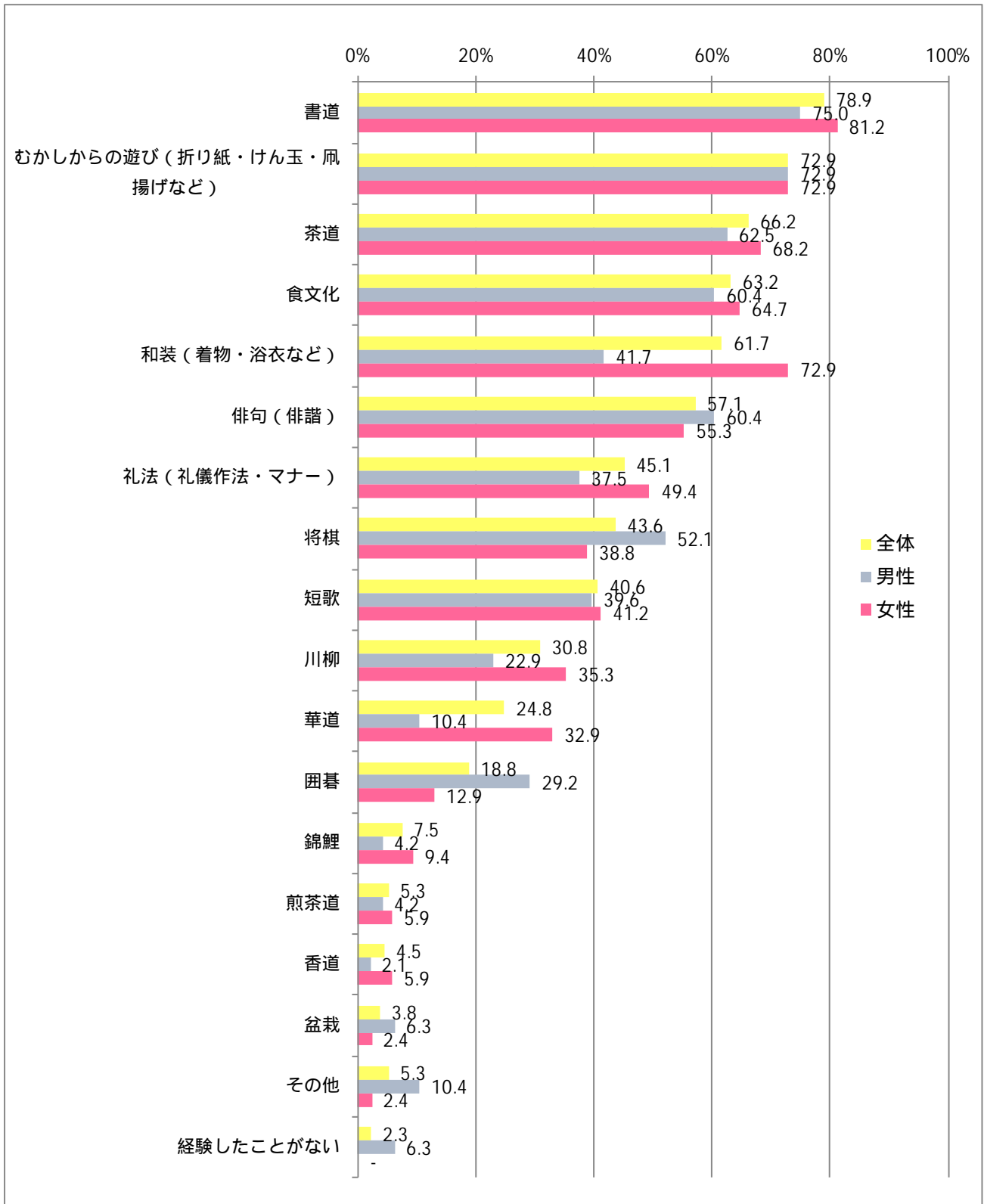
年代別で見ると、全体平均同様に「触れる機会がない」「堅苦しい」と回答した割合が高かった。

男女別で見ても、男女とも、全体平均同様に「触れる機会がない」「堅苦しい」と回答した割合が高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- z 日常生活にあるものの一つとして捉えているので、特定のイメージをもっていないから。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 身近にない、自身の生活からすれば、「生活文化」のように「日常的にそこにあるもの」ではなく、もはやわざわざ「体験」するような対象になっているから。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 食事であったり、多少の礼儀は自分が生活をしていくなかで触れているものではないが、改めて意識してどう思っているかを考えたことがない。また、昔からの遊びについては、楽しいイメージ。そのほかについては、基本的にあまり触れる機会がないので。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

質問 2 - 1 あなたが一度でも経験したことがある生活文化・国民娯楽があれば教えてください。  
 (複数回答可)



15 平成30年度 第4回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全体	書道	むかしからの遊び (折り紙・けん玉・ 凧揚げなど)	茶道	食文化	和装(着物・浴衣 など)	俳句(俳諧)	礼法(礼儀作法・ マナー)	将棋	短歌	川柳	華道	囲碁	錦鯉	煎茶道	香道	盆栽	その他	経験したことがな い
全体	133 100.0	105 78.9	97 72.9	88 66.2	84 63.2	82 61.7	76 57.1	60 45.1	58 43.6	54 40.6	41 30.8	33 24.8	25 18.8	10 7.5	7 5.3	6 4.5	5 3.8	5 3.8	7 5.3	3 2.3
性別	男性	48 100.0	36 75.0	30 62.5	30 60.4	29 60.4	20 41.7	20 41.7	18 37.5	19 39.6	11 22.9	5 10.4	5 29.2	4 4.2	2 4.2	2 4.2	1 2.1	6 6.3	10 10.4	3 6.3
	女性	85 100.0	69 81.2	62 72.9	58 68.2	55 64.7	62 72.9	47 55.3	42 49.4	33 38.8	35 41.2	30 35.3	28 32.9	11 12.9	8 9.4	5 5.9	5 5.9	2 2.4	2 2.4	2 2.4
年齢	12～14歳	13 100.0	11 84.6	9 69.2	9 69.2	5 38.5	8 61.5	8 61.5	6 46.2	6 46.2	4 30.8	5 38.5	4 30.8	2 15.4	1 7.7	-	-	-	-	-
	15～19歳	43 100.0	35 81.4	30 74.4	30 69.8	29 68.8	24 55.8	24 55.8	19 44.2	21 48.8	16 37.2	16 37.2	11 25.6	7 16.3	4 9.3	2 4.7	3 7.0	2 4.7	3 7.0	3 7.0
	20～24歳	52 100.0	40 76.9	36 69.2	33 63.5	40 76.9	36 69.2	30 57.7	24 46.2	14 26.9	26 50.0	16 30.8	12 23.1	9 17.3	4 7.7	2 3.8	2 3.8	2 3.8	4 7.7	4 7.7
	25～29歳	25 100.0	19 76.0	20 80.0	16 64.0	18 72.0	14 56.0	14 56.0	11 44.0	17 68.0	8 32.0	4 16.0	6 24.0	7 28.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	-
	性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	2 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
男性-15～19歳	15 100.0	12 80.0	13 86.7	8 53.3	7 46.7	5 33.3	10 66.7	5 33.3	8 53.3	5 33.3	4 26.7	4 26.7	1 6.7	5 33.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	3 20.0	3 20.0	
男性-20～24歳	19 100.0	13 68.4	11 57.9	13 68.4	12 63.2	8 42.1	11 57.9	6 31.6	5 26.3	9 47.4	5 26.3	1 5.3	3 15.8	-	1 5.3	-	-	5 10.5	2 10.5	
男性-25～29歳	12 100.0	9 75.0	10 83.3	7 58.3	9 75.0	5 41.7	5 38.5	6 50.0	11 91.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	5 41.7	1 8.3	1 8.3	-	-	1 8.3	-	
女性-12～14歳	11 100.0	8 81.8	8 72.7	7 63.6	4 36.4	6 54.5	6 54.5	5 45.5	5 45.5	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1	1 9.1	-	-	-	-	-	
女性-15～19歳	28 100.0	23 82.1	19 67.9	22 78.6	14 50.0	19 67.9	14 50.0	14 50.0	13 46.4	11 39.3	12 42.9	10 35.7	2 7.1	3 10.7	2 7.1	2 7.1	2 7.1	3 10.7	1 3.6	
女性-20～24歳	33 100.0	27 81.8	25 75.8	20 60.6	28 84.8	28 84.8	19 57.6	18 54.5	9 27.3	17 51.5	11 33.3	6 18.2	4 12.1	1 3.0	2 6.1	2 6.1	3 9.0	1 3.0	2 6.1	
女性-25～29歳	13 100.0	10 76.9	9 69.2	9 69.2	9 69.2	9 69.2	7 53.8	6 46.2	6 46.2	4 30.8	3 23.1	4 30.8	2 15.4	-	1 7.7	-	-	-	-	
属性	中学生	14 100.0	11 78.6	10 64.3	10 71.4	5 35.7	8 57.1	8 57.1	6 42.9	4 28.6	4 28.6	5 35.7	4 28.6	2 14.3	1 7.1	-	-	-	-	-
	高校生	32 100.0	26 81.3	25 78.1	24 75.0	16 50.0	17 53.1	17 53.1	15 46.9	16 50.0	12 37.5	12 37.5	8 25.0	5 15.6	3 9.4	2 6.3	1 3.1	2 6.3	3 9.4	3 9.4
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	大学生・大学院生	50 100.0	39 78.0	28 56.0	28 56.0	39 78.0	38 76.0	27 54.0	24 48.0	16 32.0	26 52.0	17 34.0	11 22.0	8 16.0	5 10.0	2 4.0	2 4.0	2 4.0	3 6.0	3 6.0
	パート・アルバイト・派遣社員・ 契約社員	9 100.0	6 66.7	5 55.6	4 44.4	6 66.7	5 55.6	4 44.4	1 11.1	3 33.3	3 33.3	1 11.1	2 22.2	2 22.2	1 11.1	-	-	1 11.1	1 11.1	-
	正社員・正職員	24 100.0	21 87.5	18 75.0	18 75.0	16 66.7	11 45.8	17 70.8	14 58.3	14 58.3	9 37.5	5 20.8	8 33.3	6 25.0	-	3 12.5	-	1 4.2	1 4.2	-
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 841

全体で見ると、「書道」と回答した割合が78.9%と最も高く、次いで「むかしからの遊び(折り紙・けん玉・凧揚げなど)」が72.9%、「茶道」が66.2%の順となった。

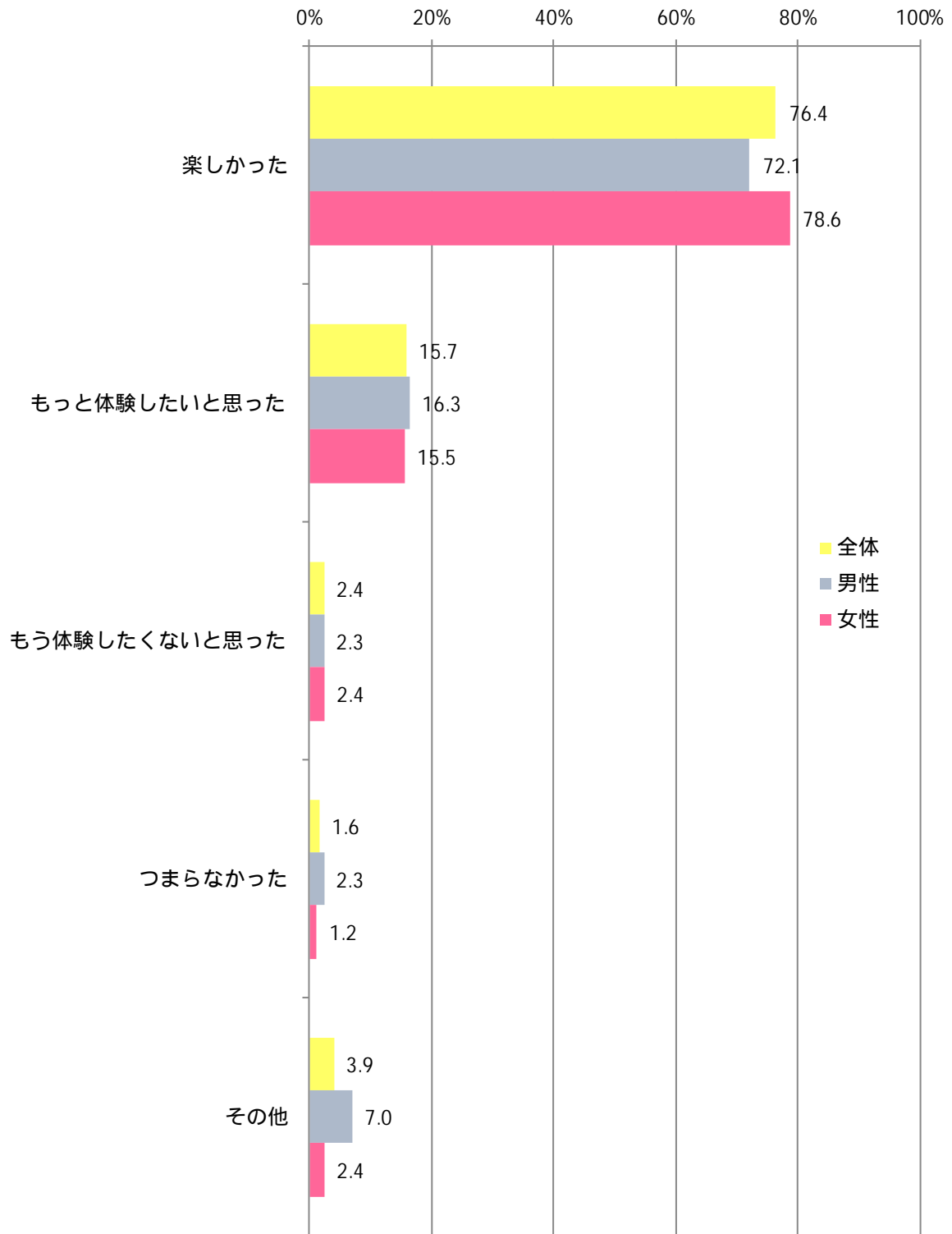
年代別で見ると、「12歳～19歳」では「書道」と回答した割合が最も高く、「20～24歳」では「書道」「食文化」、「25～29歳」では「むかしからの遊び(折り紙・けん玉・凧揚げなど)」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男女とも「書道」と回答した割合が高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- ♪ 麻雀(女性/20歳/大学生・大学院生)
- ♪ 武道やそろばん(男性/16歳/高校生)
- ♪ 琴や三味線(男性/17歳/高校生)
- ♪ 居合道(男性/23歳/正社員・正職員)
- ♪ 敬語、詩吟、お祭り、落語、狂言(女性/22歳/大学生・大学院生)
- ♪ 歌舞伎、落語(男性/16歳/高校生)

質問 2 - 2 (質問 2 - 1 で、生活文化・国民娯楽を経験したことがあると回答された方) 実際に体験したとき、どのような気持ちになりましたか。(複数経験がある方は、特に印象に残っているものに対してお答えください。)





上段：人数 下段：%		全 体	楽 し か っ た	も っ と 体 験 し た い と 思 っ た	も う 体 験 し た く な い と 思 っ た	つ ま ら な か っ た	そ の 他
全体	127 100.0	97 76.4	20 15.7	3 2.4	2 1.6	5 3.9	
性別	男性	43 100.0	31 72.1	7 16.3	1 2.3	1 2.3	3 7.0
	女性	84 100.0	66 78.6	13 15.5	2 2.4	1 1.2	2 2.4
年齢	12～14歳	13 100.0	11 84.6	2 15.4	-	-	-
	15～19歳	42 100.0	34 81.0	6 14.3	1 2.4	-	1 2.4
	20～24歳	48 100.0	38 79.2	8 16.7	-	1 2.1	1 2.1
	25～29歳	24 100.0	14 58.3	4 16.7	2 8.3	1 4.2	3 12.5
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
	男性-15～19歳	14 100.0	11 78.6	3 21.4	-	-	-
	男性-20～24歳	15 100.0	11 73.3	3 20.0	-	-	1 6.7
	男性-25～29歳	12 100.0	7 58.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7
	女性-12～14歳	11 100.0	9 81.8	2 18.2	-	-	-
	女性-15～19歳	28 100.0	23 82.1	3 10.7	1 3.6	-	1 3.6
	女性-20～24歳	33 100.0	27 81.8	5 15.2	-	1 3.0	-
	女性-25～29歳	12 100.0	7 58.3	3 25.0	1 8.3	-	1 8.3
属性	中学生	14 100.0	11 78.6	2 14.3	1 7.1	-	-
	高校生	31 100.0	27 87.1	4 12.9	-	-	-
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	大学生・大学院生	47 100.0	35 74.5	10 21.3	-	1 2.1	1 2.1
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 100.0	9 100.0	-	-	-	-
	正社員・正職員	23 100.0	14 60.9	3 13.0	1 4.3	1 4.3	4 17.4
	専業主婦（夫）、家事手伝い	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	無業者	-	-	-	-	-	-

全体で見ると、「楽しかった」と回答した割合が76.4%と最も高く、次いで「もっと体験したいと思った」が15.7%、「もう体験したくないと思った」が2.4%の順となった。

年代別で見ると、「25～29歳」では「楽しかった」と回答した割合が、他の年代と比較して低かった。

男女別で見ると、女性の方が「楽しかった」と回答した割合が、男性と比較して高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- ① 学校や普段の生活で自然と体験したため、特に意識していなかった。(男性 / 28歳 / 正社員・正職員)
- ② なるほど、こんな感じか、と思ったくらいで取り立てての感情はない。(男性 / 28歳 / 正社員・正職員)
- ③ 人生経験の中で、一度はやっておくべきことだと感じた。極めようとする長い時間をかけてやるものだろうなというのを強く感じた。(女性 / 19歳 / 大学生・大学院生)
- ④ 私立学校で、学びとして触れたので、ただの授業のひとつだった。(女性 / 28歳 / 正社員・正職員)
- ⑤ 文化を知ることとしてはタメになったが、特に思うことはなかった。(男性 / 20歳 / 正社員・正職員)

質問 2 - 3 質問 2 - 2 で「つまらなかった」「もう経験したくないと思った」と回答された方) な  
ぜそのような気持ちになったのか、具体的に教えてください。(自由記述)

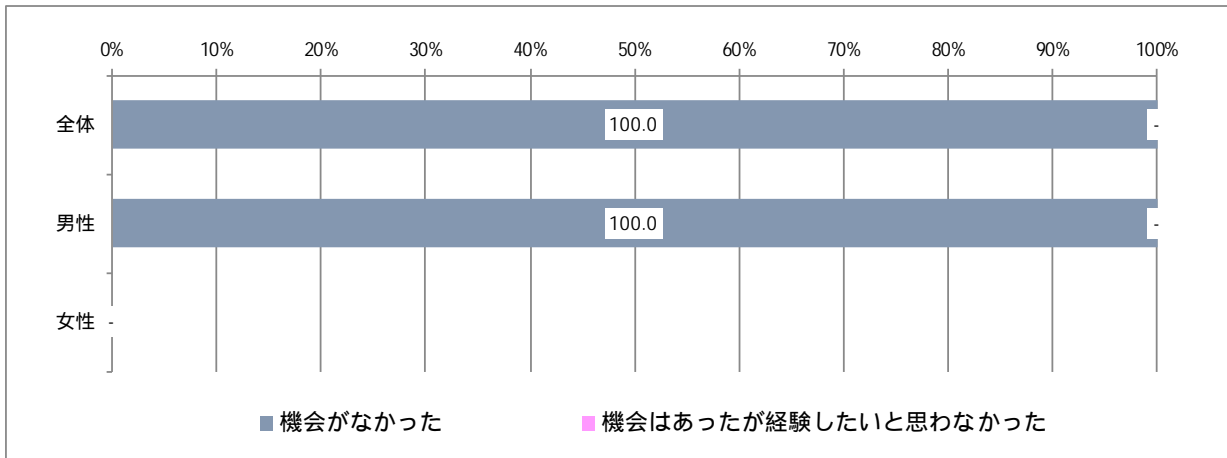
指導者に問題、雰囲気閉鎖的

- z 拘束時間が長く、先生の価値観が古いから。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 参加してみると、経験者や年配の方が尊大な態度を取っていたり、予想外の出費が多いことを後から知ったりして、近寄らなくなった経験が何度かあります。(女性 / 29 歳 / 専業主婦(夫) 家事手伝い)
- z 指導者が面白くなかった。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 私が経験したものは、閉鎖的な雰囲気であった。学校、民間、政府のそれぞれのプログラムに参加したが、指導者やそこに属する者は基本的に上から目線であった。伝統を笠に着て、自分たちの自尊心を守るためというのはよろしくないと思う。一方で、若い方々は、謙虚で接しやすかった。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

文化としての意義が不明

- z 特に～道と名の付く生活文化は作法ばかりの話で、何故その所作が必要なのか、何故それが受け継がれてきたのか、どのあたりが発足当時の人々に人気だった(感銘を受けた)のか等がほとんど説明されないため、文化として残さなければならない意義が見えない。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

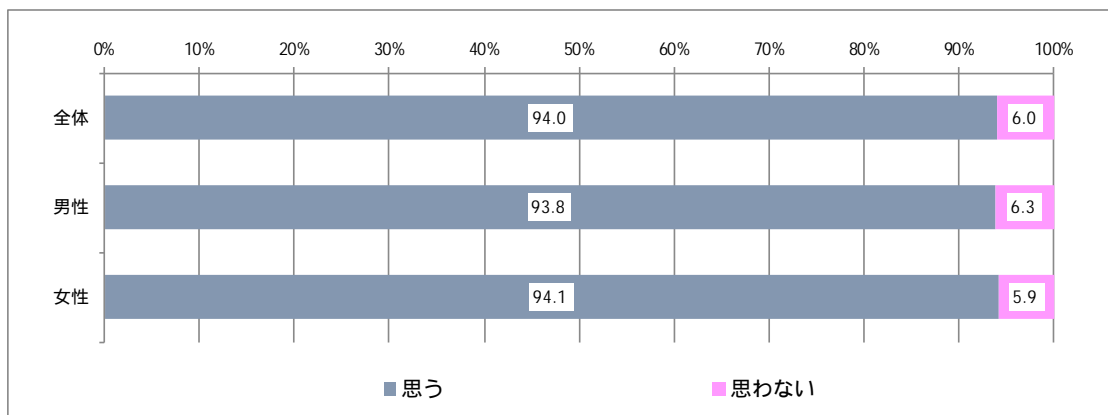
質問 2 - 4 (質問 2 - 1 で「経験したことがない」と回答された方) その理由は何ですか。



上段：人数 下段：%		全 体	機 会 が な か っ た	機 会 は あ っ た が 機 会 を し た い と 思 わ な か っ た
全体		3 100.0	3 100.0	-
性別	男性	3 100.0	3 100.0	-
	女性	-	-	-
年齢	12～14歳	-	-	-
	15～19歳	1 100.0	1 100.0	-
	20～24歳	2 100.0	2 100.0	-
	25～29歳	-	-	-
性別×年齢	男性-12～14歳	-	-	-
	男性-15～19歳	1 100.0	1 100.0	-
	男性-20～24歳	2 100.0	2 100.0	-
	男性-25～29歳	-	-	-
	女性-12～14歳	-	-	-
	女性-15～19歳	-	-	-
	女性-20～24歳	-	-	-
	女性-25～29歳	-	-	-
属性	中学生	-	-	-
	高校生	1 100.0	1 100.0	-
	専門学校・短大などの学生	-	-	-
	大学生・大学院生	2 100.0	2 100.0	-
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	-	-	-
	正社員・正職員	-	-	-
	専業主婦(夫)、家事手伝い	-	-	-
	無業者	-	-	-

全体で見ると、全員が「機会がなかった」と回答した。

質問3 - 1 生活文化・国民娯楽はこれからも引き継がれていく必要があると思いますか。



上段：人数 下段：%		全 体	思 う	思 わ な い
全体	133 100.0	125 94.0	8 6.0	
性別	男性	48 100.0	45 93.8	3 6.3
	女性	85 100.0	80 94.1	5 5.9
年齢	12～14歳	13 100.0	13 100.0	-
	15～19歳	43 100.0	40 93.0	3 7.0
	20～24歳	52 100.0	48 92.3	4 7.7
	25～29歳	25 100.0	24 96.0	1 4.0
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	2 100.0	-
	男性-15～19歳	15 100.0	14 93.3	1 6.7
	男性-20～24歳	19 100.0	18 94.7	1 5.3
	男性-25～29歳	12 100.0	11 91.7	1 8.3
	女性-12～14歳	11 100.0	11 100.0	-
	女性-15～19歳	28 100.0	26 92.9	2 7.1
	女性-20～24歳	33 100.0	30 90.9	3 9.1
	女性-25～29歳	13 100.0	13 100.0	-
属性	中学生	14 100.0	13 92.9	1 7.1
	高校生	32 100.0	31 96.9	1 3.1
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	2 100.0	-
	大学生・大学院生	50 100.0	46 92.0	4 8.0
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 100.0	9 100.0	-
	正社員・正職員	24 100.0	22 91.7	2 8.3
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	2 100.0	-
	無業者	-	-	-

全体で見ると、94.0%が「思う」、6.0%が「思わない」と回答した。  
 年代別で見ると、全ての年代において9割以上が「思う」と回答した  
 男女別で見ると、全体平均と比較して、大きな差は見られなかった。

質問 3 - 2 (質問 3 - 1 で「思う」と回答された方) 生活文化・国民娯楽を引き継いでいくために、どのような取組が必要だと思いますか。あなたの考えを教えてください。(自由記述)

#### 学校教育の中で伝えるべき

- z 学校などで経験の機会をつくる。プロの作品に触れる機会をつくる。(女性 / 13 歳 / 中学生)
- z 生活文化及び国民娯楽の引継ぎは非常に難しい。なぜなら、一般的に触れる機会が少ないからである。そこで、キーポイントとなるのが教育である。幼稚園～大学の過程において生活文化・国民文化を習い、嗜む経験が重要である。子供、生徒、学生に学ぶ経験を提供するためには、教育者の養成が必要不可欠である。担い手となる人物を育成していくことが日本の急務の課題といえる。(女性 / 26 歳 / 正社員・正職員)
- z 小学校等、学校での体験授業の開催や、地域のイベントとしての取組が必要だと思う。体験する機会があれば、引き継ぐべきだという気持ちが芽生える人が増えるだろうと考える。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 義務教育の過程で、生活文化・国民娯楽を知ってもらう機会をつくる必要がある。また、書道等の身近に取り組むことのできるものを普及していくのも大事だと思う。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 日本人としてのアイデンティティなので、時代に合わせた変化はあってもなにかしら引き継いでいくべきものだと思う。そのための取組みとしては、日常の中に触れる機会をつくること。例えば、小学校で体験する機会をつくる。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

#### 国や自治体を中心となって取り組むべき

- z 若者たちが後継者になれるよう、幼い頃から多様な生活文化・国民娯楽に触れる機会を出来るだけ多く設けることに国や地方公共団体レベルで力を入れるべきだ。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 自治体などの無形文化財として登録し、守り継いでいくと同時に PR を狙う。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 地域における、生活文化や国民娯楽の有識者の方を講師で招いた体験学習などを、行政が主体となって開催する。(男性 / 17 歳 / 高校生)

#### 地域の中で身近に取り組める仕組みをつくる

- z 将棋などは例外ですが、基本的に伝統的な娯楽や文化は近寄り難い所があるのかなと。もっと身近にあればいいと思うので、例えばお祭りとかで体験できたりすればいいかなと。まず入口を広くすることが引き継いでいくために必要かなと思います。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 地域の繋がりが重要だと思う。(男性 / 13 歳 / 中学生)
- z 身近なところで日本の生活文化を体験できること。(男性 / 26 歳 / 大学生・大学院生)

## 若い人たちが気軽に関わられる機会をつくる

- z 無償で国民が食文化や国民娯楽に触れる機会をつくる取組。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- z もっと気軽に体験できるようにする。親がそうでなくても、関わる事ができる仕組みをつくるべき。  
(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 敷居が高く、初めて参加することがなかなかできない。広報を積極的に行い、気軽に参加できる雰囲気作りが必要と考えます。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 気軽に触れられる施設の創造。シルバー層しかいないイメージの払拭。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)

## テレビなどのメディアや SNS などで PR をする

- z CM を作成する。(女性 / 23 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 日本の文化をもっと外国に発信するため、YouTube や SNS など日本文化を実施している動画を全世界に発信していく。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 本やインターネット、テレビなど文章や映像を通して、形として残していく必要があると思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z SNS などで生活文化・国民娯楽を紹介する。資料館などで体験ブースを今よりもっと多く設置する。多くの人にその良さを知ってもらい、文化継承の担い手になってもらう。また、職人などに弟子入りした場合、生活費などの補助金を多めに出す。(男性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

## 指導者を育成する

- z 継承者(若者)を育てる。まず、若者の生活に余裕を持たせる。そして、文化に触れ合える機会を与える。それをキッカケに興味を持った人が継承者になる。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 国民娯楽以外にも、娯楽が溢れている中で、日本政府がどうしても国民娯楽を守っていきたいのであれば、国民娯楽のすばらしさを教えられる人を育て、特別な援助をしたほうが良いと思う。(たとえば、国民娯楽に限り、普及活動をする際には〇円補助、など。)(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

## その他

- z 習い事は必要だとは思いますが、なんでも高額なお金がかかる。高い道具も買わなければならない。高級な趣味になっている。それを仕事としている人がいて、大人が無料で教えようとしめない。習い事をしない家族には伝統は引き継がれない。ピアノレッスンなら達成感があるが、達成感のある取組にしないと盛りあがらない。(女性 / 12 歳 / 中学生)
- z 世代を超えたコミュニケーション。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 国民娯楽を受け継いでいく必要性をアピールする。正直今は、多くの人が必要さに気がついてないと思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 大人がやらないと子供も真似してやらないので大人のための座談会のようなものを開催する。(男性 / 18 歳 / 専門学校・短大などの学生)

質問 3 - 3 (質問 3 - 1 で「思わない」と回答された方) 必要だと思わない理由があれば、教えてください。(自由記述)

時代の流れであり、無理に引き継ぐものではない

- z 全て引き継ぐ必要がないと考えているわけではなく、食文化と礼法については引き継がれても良いと思う。食文化に関しては日本に住んでいる限り、古くからの食材の調理法に関して知っていることは役立つと思うから。また、日本人の食生活として和食そのものは体に良いとされているため引き継ぐべきだと思う。礼法に関しては、社会においてマナーが求められると考えるから引き継がれるべきである。しかし、他のものに関しては生活をしていく上で不要なものであり無理に引き継ぐ必要はないと考える。どのようなものでも時代と共に廃れていくものである。生きていくうえで大きな影響を与えないのであれば引き継ぐ必要はない。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 文化や娯楽は人々が自然に作り上げられ引き継がれていくものであると思うからです。積極的に生活文化・国民娯楽を継承したくない、というのではなく、人々が必要だと思えば後世に引き継がれ、不要だと思えば廃れていくものであると思います。強制的に文化や娯楽を残そうとすれば、その文化や娯楽が本来有する良さが背後に隠れ、形式的に残ってしまう可能性もあると感じます。形式的に残ったものはもはや文化ではなく、単純に行為として残るだけでしょう。(男性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 生活文化は無理して引き継いでいくものではなく、必要だと考える人の間だけで自然と引き継がれていけばいいと思うからです。時代の流れを受けて消滅してしまうのはしょうがないことで、新しい生活文化が代わりに生まれているのではと考えます。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

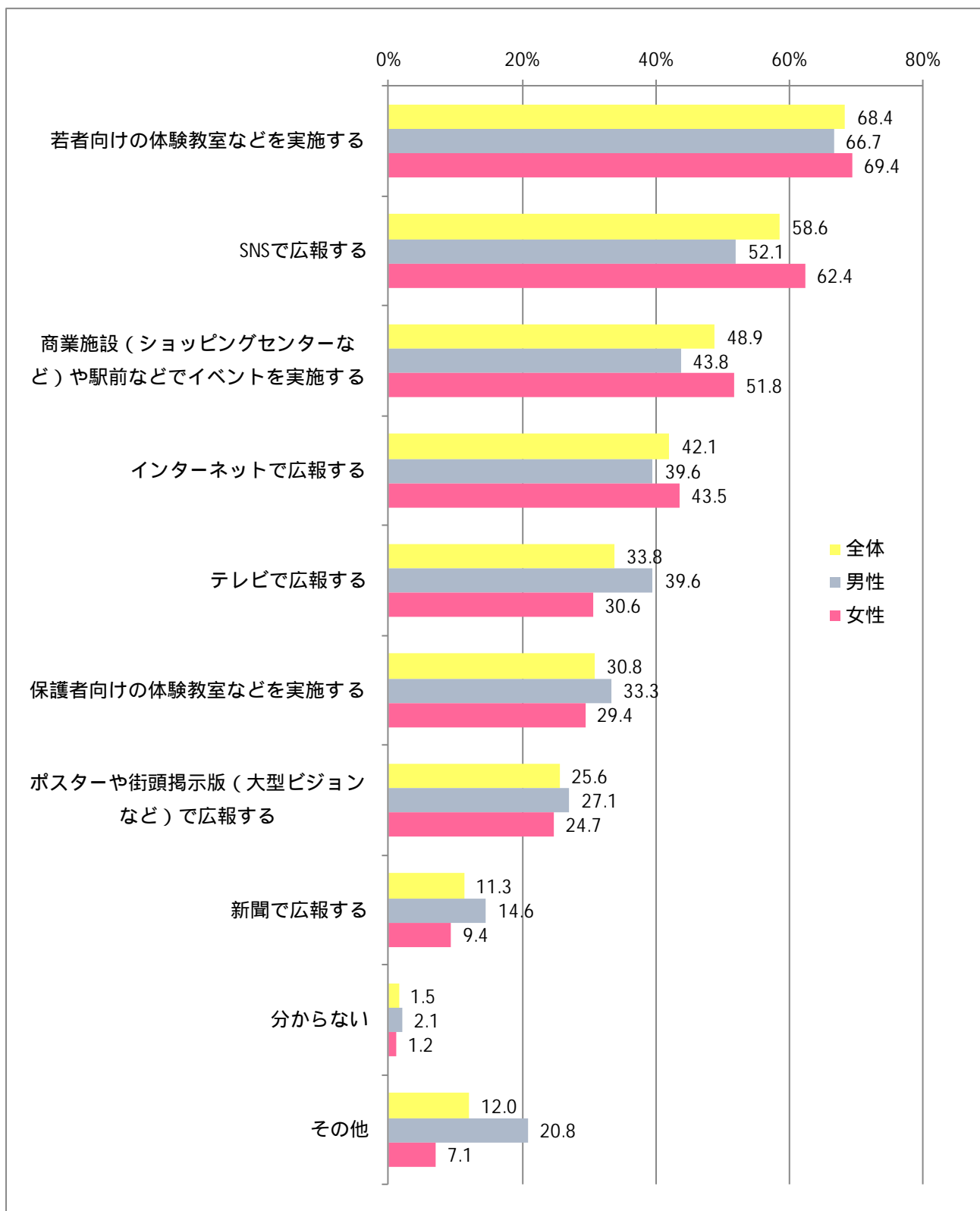
分かりやすい説明をするべき

- z もっと効率よく身につけやすいように、簡単に、分かりやすく説明してほしい。親や先生も身につけてほしい。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 特に～道と名の付く生活文化は作法ばかりの話で、何故その所作が必要なのか、何故それが受け継がれてきたのか、どのあたりが発足当時の人々に人気だった(感銘を受けた)のか等がほとんど説明されないため、文化として残さなければならない意義が見えない。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

個人の判断に任せる

- z 私自身特に経験がないため、必要かどうかの判断ができなく、経験していなくても生活に支障を感じないからです。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 残していかななくてはならないということではなく、個人が楽しんでいって行けばいいと思う。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z やりたい人が続けていけばいいと思うから。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

質問 4 どのようにすれば若い世代の人たちが生活文化・国民娯楽に関心を持つと思いますか。アイデアがあれば教えてください。(複数回答可)





上段：人数 下段：%		全体	若者向けの体験教室などを実施する	SNSで広報する	商業施設（ショッピングセンターなど）や駅前などでイベントを実施する	インターネットで広報する	テレビで広報する	保護者向けの体験教室などを実施する	ポスターや街頭掲示版（大型ビジョンなど）で広報する	新聞で広報する	分からない	その他
全体	133 100.0	91 68.4	78 58.6	65 48.9	56 42.1	45 33.8	41 30.8	34 25.6	15 11.3	2 1.5	16 12.0	
性別	男性	48 100.0	32 66.7	25 52.1	21 43.8	19 39.6	19 39.6	16 33.3	13 27.1	7 14.6	1 2.1	10 20.8
	女性	85 100.0	59 69.4	53 62.4	44 51.8	37 43.5	26 30.6	25 29.4	21 24.7	8 9.4	1 1.2	6 7.1
年齢	12～14歳	13 100.0	7 53.8	7 53.8	5 38.5	6 46.2	5 38.5	4 30.8	3 23.1	2 15.4	-	1 7.7
	15～19歳	43 100.0	28 65.1	30 69.8	18 41.9	22 51.2	19 44.2	13 30.2	12 27.9	5 11.6	-	3 7.0
	20～24歳	52 100.0	35 67.3	30 57.7	30 57.7	19 36.5	15 28.8	15 28.8	15 28.8	7 13.5	2 3.8	5 9.6
	25～29歳	25 100.0	21 84.0	11 44.0	12 48.0	9 36.0	6 24.0	9 36.0	4 16.0	1 4.0	-	7 28.0
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-
	男性-15～19歳	15 100.0	11 73.3	10 66.7	6 40.0	9 60.0	9 60.0	5 33.3	4 26.7	3 20.0	-	2 13.3
	男性-20～24歳	19 100.0	11 57.9	9 47.4	7 36.8	6 31.6	6 31.6	5 26.3	6 31.6	4 21.1	1 5.3	3 15.8
	男性-25～29歳	12 100.0	9 75.0	4 33.3	7 58.3	2 16.7	2 16.7	6 50.0	2 16.7	-	-	5 41.7
	女性-12～14歳	11 100.0	6 54.5	5 45.5	4 36.4	4 36.4	3 27.3	4 36.4	2 18.2	2 18.2	-	1 9.1
	女性-15～19歳	28 100.0	17 60.7	20 71.4	12 42.9	13 46.4	10 35.7	8 28.6	8 28.6	2 7.1	-	1 3.6
	女性-20～24歳	33 100.0	24 72.7	21 63.6	23 69.7	13 39.4	9 27.3	10 30.3	9 27.3	3 9.1	1 3.0	2 6.1
	女性-25～29歳	13 100.0	12 92.3	7 53.8	5 38.5	7 53.8	4 30.8	3 23.1	2 15.4	1 7.7	-	2 15.4
属性	中学生	14 100.0	8 57.1	7 50.0	5 35.7	6 42.9	5 35.7	5 35.7	3 21.4	2 14.3	-	1 7.1
	高校生	32 100.0	21 65.6	24 75.0	13 40.6	16 50.0	15 46.9	7 21.9	9 28.1	3 9.4	-	3 9.4
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	1 50.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	大学生・大学院生	50 100.0	34 68.0	32 64.0	27 54.0	19 38.0	15 30.0	17 34.0	12 24.0	5 10.0	1 2.0	5 10.0
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	9 100.0	8 88.9	5 55.6	6 66.7	7 77.8	4 44.4	5 55.6	5 55.6	4 44.4	-	2 22.2
	正社員・正職員	24 100.0	17 70.8	10 41.7	12 50.0	7 29.2	6 25.0	7 29.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	5 20.8
	専業主婦（夫）、家事手伝い	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-
無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

複数回答有り：回答数 443

全体で見ると、「若者向けの体験教室などを実施する」と回答した割合が68.4%と最も高く、次いで「SNSで広報する」が58.6%、「商業施設（ショッピングセンターなど）や駅前などでイベントを実施する」が48.9%の順となった。

年代別で見ると、「12歳～19歳」は「SNSで広報する」と回答した割合が最も高く、「20～29歳」は「若者向けの体験教室などを実施する」と回答した割合が高かった。

男女別で見ると、男女とも「若者向けの体験教室などを実施する」と回答した割合が最も高かった。

## 「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

## 学校教育の中で取り扱う

- z 小学生の時に学校の授業などで取り扱う。小学生など子どもの時に興味を抱かなければ、その後関心を持つことは少ないと思うため。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校や地域などの公共の場で触れる機会をつくる。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z インターネット上における「インフルエンサー」を通じた広報。若者向けファッション雑誌上での広報。学校で直接体験する機会があること。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校で体験教室などを実施する。(児童・生徒だけ、保護者・地域住民参加型などいくつかのパターンで)(女性 / 29 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校の学習(日本史)をしっかりとやることで、若い世代の、昔から受け継がれてきた生活文化・国民娯楽への関心が高まると思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)

## 有名人やアニメを通じて発信する

- z タレントやモデル、アイドルなどの有名人が体験する様子などを発信する。アニメを見て、興味を持つ人もいる。これを国民娯楽などに置き換えれば、それをキッカケに始めるかもしれない。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z アニメを題材にした歌舞伎のように現代の作品と融合させる。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 日本の生活文化、アニメ、テクノロジーのように、これまでの日本の価値と現代の価値を組み合わせ、そこから身近に感じてもらうのが良いと思う。(男性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

## 大型イベントの開催などを行う

- z 習い事ではなく、サークルのように誰もが気軽に参加、体験ができる野外フェスティバルのようなイベントを企画し、SNS で呼びかけ、若い世代が魅力に感じるようなインスタ映えを発信すれば、より関心を集めると思う。(女性 / 28 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z e スポーツなどのように大きな大会をアマチュア向けに開催して、発信できる場を提供していくことが良いと感じます。(男性 / 25 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

## その他

- z 広報するとありますが、どのような広報をするかが大事だと思いました。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 体験コースは客引きとしまい、英語無料レッスンと同じで何度も行けない。家族で学べる完全無料のコースを作る。(女性 / 12 歳 / 中学生)
- z それを持つ面白さはもちろん、歴史的価値(単に受け継がれてきたからではなく、何故それを残さなければならないのか)を積極的に目につく形でアピールすること。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 周知活動は必要であるが、周知した先で、それら文化に理解を得なければ意味がない。私は、これまでにいろいろな活動に参加したが、やはり、若者の理解を得るのは大変困難であると感じた。そして、私自身も、それら文化の維持は必要であるとは理解しているが、なぜこれらが機関や人々によって運営される必要があるのかについての理解はない。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

質問 5 どのようにすれば外国の方に日本の生活文化・国民娯楽を知ってもらえると思いますか。アイデアがあれば教えてください。(自由記述)

動画サイトや SNS で呼びかける

- z 誰もが気軽に参加、体験ができる野外フェスティバルのようなイベントを企画し、SNS で呼びかけ、若い世代が魅力を感じるようなインスタ映えを発信すれば、日本からも外国からも関心を集めると思う。(女性 / 28 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z YouTube やインスタグラムで紹介する。(女性 / 13 歳 / 中学生)
- z 十分伝わっていると思うので、今まで通り SNS 等で積極的に発信していくべきである。(女性 / 26 歳 / 正社員・正職員)
- z SNS を用いて多言語で発信する。生活文化・国民娯楽を体験できるツアーを企画する。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z メディアだと思います。特に今ではインスタグラムや TikTok のようなもので動画として伝えていくのが早いと思います。しかし、この方法は、せっかくの伝統が適当な形の文化として発信されてしまう可能性が高いので、言い換えると、あまり知らない人が見よう、見まねで雰囲気と動画映えに重点を置いて間違った文化を教える可能性があるため、幼いうちから正確な伝統をしっかりと引き継いでいくことが大切だと思います。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 今の時代ならば SNS で発信すれば色々わかりあえると思います。それが留学生の方向けにそういったイベントがあるとうれしい。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 海外進出。地元の工房と政府が提携して、観光業をサポート。Facebook などの SNS で世界に発信。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)

体験ツアー、体験イベントを行う

- z 日本以外の国に赴いて、現地で体験コーナーを実施する。その国で活躍する著名人に体験してもらおう。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 海外で、体験教室を開いたり、日本へのツアーの内容にそれらの体験を含めるのがいいのではないかと思います。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 日本にわざわざ来る外国人旅行客は、へたな日本人よりも日本文化に詳しい気もする。簡単な体験コースと、もっとディープな体験ができるコースがあるとよさそう。(女性 / 25 歳 / 大学生・大学院生)
- z 訪日外国人数が近年増加している。最近では消費から体験へと訪日目的がシフトしていると聞く。その「体験したい」という需要を、粗悪でなく質を担保できる業者につなげることが出来るよう制度作りをする必要がある。訪日者を大事に出来れば、彼らが本国に帰ったときに良い口コミ人として新たな需要を呼び起こせるのではないだろうか。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 海外でイベント、教室を開く。実際に経験してみると楽しさが分かると思うから。(女性 / 19 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

## 外国語のウェブサイトや広報誌等の作成

- z 何カ国語かのチラシをつくる。また見た目で興味が引ける色使いにする。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- z 英語のパンフレットなどを街中におく。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 外国人旅行者が目にしたたりする参考メディアに掲載する。体験できる場所では最低限英語を併記する。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 日本の生活文化, 国民娯楽について英語で説明してあるチラシを作っておいて外国の方に会ったらそれを渡すようにしたらいいと思う。また、実際に劇などをして外国の方に見てもらいたいと思う。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 海外へ発信できるサービスを増やしていけばよいと思う。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 外国人向けの観光サイトで情報提供を行う。また、体験型の観光というのが流行っているようだが、まだまだ外国語に対応できる人が少ないのではないかと思われる。そのため、外国語を使えるようにして実際に体験してもらいたいというのが一番だと思われる。その際に、作法を厳しくするのではなくその動作の意味などの理由に注目すべきであると思う。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 日本の外国人向けのウェブサイトを開設することや、日本の観光ツアーに盛り込むことだと思う。日本に来たからには体験したいと思う人もいるし、方法がわからない人も多いと思う。積極的にアピールしていくことが大切だと思う。(女性 / 18 歳 / 高校生)
- z 外国の旅行者が日本にやってくるというのは「観光」が多い。その観光するところを決めるにはインターネットを利用する人が多い。だから、インターネットで動画を発信したり、こういうものがあるよと、外国語で広めていくのがいいと思う。逆にこちらから興味を持ってもらうために人を派遣するのもいいと思う。(女性 / 12 歳 / 中学生)

## 空港・観光客が多いところで PR する

- z 日本人学校で体験させる。空港に PR ブースを設置する。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 様々な日本の文化に触れてもらえるように外国のテレビや飛行機内で日本の文化を紹介して体験型のバス旅行などを宣伝する。ティッシュに日本文化の広告を挟んで駅前で外国人旅行者に配る。外国のユーチューバ やタレントに体験してもらい、広めてもらう。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 映画やドラマで取り上げる。観光地などで文化に簡単に触れられたり、体験できるようにする。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 空港や観光客が多いところで体験出来るようにすると思う。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- z 空港やクルーズ船が寄港する港などで実演を行うと良いと思います。すでに実現されているアイデアかもしれませんが、特に空港の制限エリアで出国手続きを終え、航空機の出発待ちをしていたり、混雑して入国審査を待っている観光客の前で実演・体験ができるなら、多くの人から関心を集められるでしょうし、日本という国をより印象づけることができると思います。(男性 / 24 歳 / 大学生・大学院生)

## アニメや漫画などに取り入れる

- z ポップカルチャーとともにオールドカルチャーとして推し進める。アニメなどに日本文化を取り入れてもらう。(男性 / 18 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- z アニメ、漫画は日本の文化として浸透しているので、日本の文化を紹介するようなアニメ、漫画を作る。あるいは日本の文化がよく反映されているアニメやドラマ、漫画を外国人向けにより力を入れて発信する。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 国民娯楽を海外受けするキャラクターとコラボさせる。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 環境問題、アニメなど日本が誇れるものがルーツとしてあると思うので、掛け合わせて広報するなど。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)

## その他

- z 交換留学生の方がもっと増えたら学校側の取組も増えそうな気がします。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 各種の文化交流会の際に作品等を隅において、自然と話題となるようにする。外国人から聞かれて、答えられないという経験によって日本人の意識も変わっていくと思う。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 日本人よりも外国人の方が情報を持っていて興味があるように思う。日本らしい風景の場所には外国人が多いし、体験も外国人向けが多いような印象がある。興味があれば調べる。(女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 特筆すべきパフォーマーをピックアップし、タレント感を持たせて PR すべきだと思う。広報だけでは魅力が伝わりづらい。体験だけでは継続性がないと思うので、「尊敬できる or 面白いキャラクターの人が」「楽しそうに or 使命感をもって」その国民娯楽に没頭している様子を見せる必要があるように感じる。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 日本人が大切にし、それを英語で説明できるようにする。学校の英語の教科書は、日本の生活文化や国民娯楽を説明できる内容になっていない。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 初級レベルのものを、小学校のうちから学校で教えてほしい。関心を持っているものがあったら、自発的に学ぶと思う。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 英語で発信する。英語で発信しているような個人や団体を支援する。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)